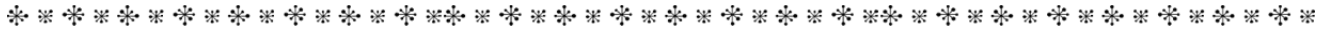




史跡 瓦窯跡公園四阿

発行日 令和2年5月10日
 発行元 大山崎ふるさとガイドの会(OFG)
 発行責任者 脇田 幸三
 連絡先 大山崎町歴史資料館内
 TEL 075 (952) 6288, FAX 075 (952) 6289
 URL <http://www.kyoto-ofg.org/>

第160号



会長に就任して



会長 脇田 幸三

令和2年度、会長の推薦を受け、もう順番だからとお引受けしましたが、職務の重さに耐えられるかと心配をしています。諸先輩方の築いてこられた功績を更に大きくしていきます。

新型コロナウイルス感染拡大予防で公共施設等の休館、閉鎖で各班ともに引継ぎ等、苦難のスタートとなりました。

私は、第七回の「養成講座」修了生です。離職後の過ごし方を考えると、人生の半分を過ごす大山崎はどんな町なのかと、死に土産に知ろうと思いました。

養成講座を通じて、歴史豊かな場所に住んでいることを実感すると同時に歴史が得意で無い私に熱心に勧誘していただいた永田氏に負けて入会をしました。以来、多くの会員の方々との交流も深まり楽しく活動が来ています。

学生時代に、和尚より「今、貴方が思っているやり方で教えていいよ・・・」

社会人時代に、社長より「振り返った後に、大きな路があるように・・・」と教えられました。この教訓を生かし、今年度は、大河ドラマの放映で沢山の来町者が期待されるなか、我々メンバーひとり一人がどんな対応が良いのか知恵を出さなければなりません。

イベントや養成講座等も定着、いやマンネリ化しているため、ガイド活動もただ名所、名跡を案内するだけではなく、何か体験をしていただき、別な思い出を作ってもらえるコースづくりの検討をしたい。

又、来年度に開講を予定している「ふるさと案内人養成講座」の内容充実のため、本年度より準備活動をして魅力ある講座にしたいと思います。

これらの事業をやっていくためには、京都府の「地域交響プロジェクト交付金」の申請を行い、資金確保と同時に全会員のご協力、ご支援がなければ実施・実現が出来ません。事業と職務の完遂のため、皆様のご指導、ご鞭撻をいただきますようよろしくお願い申し上げます。

令和2年度 定期総会中止

4月16日(木)に例年通り、大山崎町町長をはじめ多くの来賓の方々をお招きして開催を予定していました令和2年度の「定期総会」は、新型コロナウイルス感染拡大予防のため、残念ですが中止にしました。

新型コロナウイルス感染の終息目途が立った時点で会員全員が参加可能な行事を計画したいと思います。

3月10日～5月9日までの活動実績		活動予定	
1. 主なガイド	主なガイド、行事予定		
・3月13日(金) 伊勢遺跡保存会 (中止)	・5月15日(金) 京都SKYシニア大学 (中止)		
・3月24日(火) 株式会社自然総研 (中止)	・5月16日(土) 春の天王山ウォーキング (中止)		
・3月29日(日) みんなく雑学サロン (中止)	・6月7日(日) 淀川発見講座 (中止)		
・4月8日(水) 高知新聞観光くらぶ (中止)	・6月13日(土) クラブツーリズム (中止)		
・4月18日(土) 大阪滋賀県人会 (中止)			
2. 会の行事など	新型コロナウイルスを感染させない、されないために、5月・6月の活動を中止します。		
・4月16日(木) OFG定期総会 中止			
・4月20日(月) 歴史ウォーキング2020春「OFGあちこち学習山歩」 中止			
・3月16日(月) 天王山 12名			
・4月27日(月) 天王山 中止			

4月ガイド実績

	一般ガイド		歴史資料館		おおやまざき・なび		合計	
4月	0件	0人	0件	0人	0件	0人	0件	0人
令和2年度累計	0件	0人	0件	0人	0件	0人	0件	0人

私の一か月？

【わたし こんなん しています】

趣味の新聞と読書

OFG以外では「京おとくに街おこしネットワーク」があります。この会で陽光桜という桜を大山崎に約50本植えました。また水墨画を描いたり、長岡京の「男の居場所の会」や長寿園の囲碁・テニスにでかけたり、といろいろありますが、その中から今回は謡曲と仕舞を取り上げてみます。

月に一度の稽古ですが場所は宝寺です。ふとしたことから宝生流のシテ方の澤田先生に宝寺でお目にかかることがあり、同じ宝の字からの縁で教えていただくことになりました。素晴らしい聲の持主でシテ方ですから能の所作や囃子の合の手も入れたり、教え方も素晴らしい。TVにも何度も出演、また海外までも出かけておられる先生です。謡宝生・舞金剛といわれるように、宝生は謡が難しいといわれていますが、わかりやすく丁寧に教えていただき、仕舞もあわせて年に一度、大江能楽堂での発表会もありますし、宝寺での“鬼くすべ”にも袴を着て謡を奉納しています。大きな声を出して健康にもいいですし伝統芸術に参加する喜びもあります。皆さんの中から仲間が増えればもっと楽しいのですが、お待ちしていますよ。

(4班 木村 嘉男 記)

私は、毎日の生活習慣でコーヒブレイクして新聞を読んだり読書したりするのが好きです。ある新聞のコラムに曾野綾子さんの「老いの僥倖」というエッセイがあり、その一部を紹介すると「人柄のいい人」という定義には外見が美しいとか、大金持ちだとか、地位が高い人だとかいうニュアンスは込められていない。しかし、人間の魅力の源泉である温かさという美徳が込められている。肉親や他人のために、あれこれ思うことのできる心の存在が人柄を作る、と明言しています。何より印象に残ったことは「人柄のいい人」は自分のであれ、他人のであれ、人生を総合的に見られる眼力を持っている。他人を助けられるのは僅かな部分だが、それでも手助けしようとするのである。

私は、OFGでは生涯学習に努め、会員の親睦を図り、月々の班会議やガイドのボランティア活動を通じて、この「人柄のいい人」を見出しています。

コロナウイルス感染が終息しない中、不要不急の外出を控えるように要請されており、今は自宅でのんびり過ごし、美味しいコーヒーを飲みながら、趣味の新聞と読書を共にするひと時を持っています。

(3班 藤原 敬一 記)

OFGを振り返って

第四期の養成講座に参加させて頂き十五年余り、会員の皆様や関係部門の方々に大変お世話になりましたが昨年からの家庭の都合と自身の勝手さで3月末をもって退会させて頂く事になりました。

私の入会の動機は退職を機に何かを求めていた時、養成講座の案内を頂き決めたのであります。講座終了後に1班に配属されましたが当時の1班は極端に人数が少なく「よく来てくれた」と「金の卵」扱いを受けたことを覚えています。又、配属後経験の少ないうちから幹事の大役等を仰せつかった事もありました。この事は、後から考えると貴重なものとして残りました。その他の「思い出」として、今は亡き大先輩から伝えられた事ですが退職後の生き方として4つの項目を教えて頂いた事です。一つは楽しむ事(遊びを含めて)、二つは地域の人との交わりを深めてゆく事、三つは地域につくす事、四つはボケないように少し頭を使う事でありました。OFGにはピッタリと言う事で共感したのです。

今、十五年余りをふり返ってみる時、やはり一番の思い出は、平成二十三年の国民文化祭・京都2011でOFGが大山崎町から任された、宝積寺での「秀吉の大茶会」の催しです。会員全員が一つの目標に向かってこれを大盛況に導いた事です。お客様から大変喜んで頂きました。

今後の事ですが先程の4つの項目等大切に会員皆様の一致団結と更なる発展をお祈りしております。

(元1班 中島 三郎 記)

会員動静

昨年度末をもって、1班中島三郎氏、津田美也子氏、生嶋省子氏、高崎徳雄氏、2班上田英俊氏、鈴木朋子氏、3班野沢満氏、田中峯子氏、4班久保恵子氏、宮崎登喜恵氏が退会されました。長期間にわたるご貢献に感謝申し上げます。

又、4月より1班山本紹夫氏、2班山崎正道氏が新規に入会されています。ご活躍を期待します。

あちこち学習山歩

月輪寺から愛宕山へ

2月25日、コースは清滝から表参道を登り、月輪寺に行く、初心者向きのコースでした。

月輪寺は山の中にポツンと立つお寺です。月輪寺の住職の長いお話が終わったときは昼を過ぎていました。これからは楽しい昼ごはんです。女性たちが作った一品が出ます。私はこれを楽しみにあちこち学習山歩に参加しているようなものです。

昼ごはんの時、みんなから「ここまで来たら愛宕山に登ろう」との声があがり、急遽、愛宕山に登ることになりました。登りはあまりきつくはありませんでした。下りは長い長い階段、カイダンの連続です。足腰ガタガタ、雪がなかったのが幸いでした。痛い足をおさえながらなんとか清滝までたどり着くことができました。こんな体力ではOFGのガイドが大変です。足腰を鍛えるためにも愛宕山に登ります。登りたい人はどうぞお越しください。

(1班 平岡 保 記)

天王山の整備活動

一昨年、9月台風21号が襲来し西日本に甚大な被害をもたらせた。天王山も倒木が構築物を破壊し、登山道を通行不能にした。

次の日、山に登ろうとした私は、桜広場公園から100m先の稲荷神社に行くのに30分掛かり退却、余りにも凄まじい台風の威力に驚愕。町役場は伐採業者に依頼、チェーンソー等を使い倒木撤去をしたが切断木は放置されていた。町役場の林亭氏の依頼を受けて当会も後片付けのお手伝い、我々も延べ8回作業した。

山の整備は今も継続している。天王山の各所も伐採整備されて頗る好展望(三川の合流が見られる)が得られるようになった。

また、手付かずの状態であった神照院の参道や境内も整備、知られざる巨大五輪塔や十三重石塔も見られるだろう。これからも天王山を守るために微力ながらOFGはお手伝いしたい。(前会長 澤田 僚一 記)